

優和のミニかわら版

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

人を動かす言葉、ほめる、叱る

—ほめる—

ほめられれば誰だってうれしいものです。うれしくなってやる気が出たり、ほめられたことを励みにして「もっとびっくりするような結果を出してやろう」となるなど、ほめることの効果は誰もが否定しません。にもかかわらず、私たちは人のことをあまりほめようとしませんし、いざほめようとすると、なかなかうまくほめることができません。

—叱る—

部下を叱らなくとも期待通りに動いてくれて、順調に仕事が進むのであれば言うことはありません。しかし、実際に叱らなければならない状況が必ずやってきます。叱る必要がある時には叱る。まず、そのことをしっかり心に刻む必要があります。

—10 則—

「ほめる、叱る」の注意点を10項目にまとめました。

- ①毎日実践、ほめ言葉。
- ②ほめるときには表情豊かに。
- ③怒りを鎮めて叱りのモード。
- ④叱るときは相手を認めて具体的に。
- ⑤ほめたら叱る。叱ったらほめる。
- ⑥ほめるも叱るもタイミング。
- ⑦プライドよりもあるがままに。
- ⑧励ましはカウンセリングトークから。
- ⑨ほめる、叱る。愛を感じさせる。
- ⑩納得すれば動きは変わる。